

令和6年度

学生によるオレンジリボン運動

岩手医科大学 実施報告書



実施主体 岩手医科大学看護学部 助産師養成課程

実施内容 5/29 講義の事後学習、11/4 いいお産の日にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

助産師養成課程 3年生の講義内で、児童虐待の予防と早期発見、早期介入の講義と助産師としてどのように関わる事ができるかをディスカッションし、知識を深めた。また講義内で、オレンジリボンを作成し啓発活動への意識を高めた。

助産師養成課程 4年生は、いいお産の日のイベントに参加する前に、児童虐待の実態と、オレンジリボン運動が始まった経緯について事前に学習した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

5/29の講義（3年生）終了後、講義内で作成したオレンジリボン 10個を意義を説明しながら知人などに配布する啓発活動を実施した。友人や教員、親に配布した。11/4のイベント（4年生）いいお産の日 in いわて 2024において、オレンジリボン運動のポスターの掲示と、妊婦などの参加者にオレンジリボンを配布し啓発活動行なった。

③オレンジリボン運動を終えて…

事前学習を行なった上で啓発活動したことで、オレンジリボン運動の意味を理解して実施できた。

今後妊産婦と関わる助産師学生として、児童虐待を予防する為には、妊娠前から子どもと触れる機会を持つこと、妊娠中から虐待に関する知識をもつこと、産後は孤育てならないように母親の精神的支援や地域とつなげる工夫が必要であることが必要である。今回の取り組みはそれらを理解する契機となった。また、第三者に説明することで、知識の定着につながった。

